漁業法第六十七条第一項の規定による指示.

漁調委告示

直接請求に必要な有権者の数

選管告示

保安林予定森林 (森林整備課).....

特定建設工事共同企業体の一般競争入札の参加資格の審査(都市

計画課)

山

平成十八年度毒物劇物取扱者試験の実施 (薬務課).......

土地改良事業の工事の完了の届出 (農村整備課).......

国営農地再編整備事業 (豊北地区寺川換地区)の換地処分 (農村整備課)

П

道路の位置の指定 (建築指導課).....

急傾斜地崩壊危険区域の指定 (砂防課)

生活保護法の規定に基づく介護機関の指定 (五件) (厚政課).....

生活保護法の規定に基づく指定介護機関の廃止の届出 (厚政課)...

土地改良区定款変更の認可 (農村整備課).....

土地改良事業施行の同意 (農村整備課)

(定期)

目

次

毎週火・金曜日発行

6月20日

(火曜日)

平成 18 年

平成十八年六月二十日

称名又は名 介

の届出があった。

議市社会会 会活 のた住事 所る所 在事又 地務主 者

ゆっ

たり熊毛

名居

宅 称介 護 所事 在業 地所

の

山口県知

事

_

井

関

成

種事 類業

廃止年月日

福人 三番一七号町南南市速玉町 周 田三〇の二周南市大字安 浴訪 介問 護入 平成一 źν́

Ξ

祉周社協南会

美和町 名居 宅 介 称護 支 の所在地 まま 者 字生見二一二六 玖珂郡美和町大 支援事業所美和町居宅へ 名居 宅 介 介護 称護 支 字生見二一二八玖珂郡美和町大 所援 事 在業 地所 平 成 廃止年月日 二 二 五

Ξ

山口県告示第三百四十一

介護扶助のための居宅介護を担当させる機関を次のとおり指定した。 生活保護法 (昭和二十五年法律第百四十四号) 第五十四条の二第一 項 の規定により

平成十八年六月二十日

— : 〇 九

九 八七 七 七 七

0

称名又は名 護 名居

宅

護

称介

所事

在業

地所

種事類業

指定年月日

の

山口県知

事

井

関

成

のた住事 所る所 在事又 地務は 所主

0

田四〇の二二

一部大字木

介所短護生期

活入

平 成

四二

アスワン山荘社会福祉法人

一 六大 の字 一山 ン山荘 ホーム アスワ スリ 田宇四部

ビスセンター センチュリー

愛世会福祉法-

中一二六の一

平成

" /\

11

ンイクい クサーニット ビスケデ センテデ・ 五町岩 〇一丁 目 一 の 番木 護通対認 所応知 介型症

会 医療法人新生

五丁岩 目目市 〇一の の

"

"

口県告示第三百四十号

る同法第五十条の二の規定により、 生活保護法 (昭和二十五年法律第百四十四号)第五十四条の二第四項において準用す 指定介護機関から次のとおり介護機関を廃止した旨

平成18	3年6月	20日	火曜日	I	Щ	П	県	報	(定	期)	第 <i>17</i> 63	号
名 特定福祉用具	平成十八年	介護扶助のため	山口県告示第	大平有限会社	恒和会 社会福祉法人	ん家 名社楽さ	周南市	"	"	11	"	11
元具販売事業者 の所在地 新所主を事務所	平成十八年六月二十日	介護扶助のための福祉用具の給付を担当させる機関を次のとおり指定した。 生活保護法(昭和二十五年法律第百四十四号)第五十四条の二第一項の規定により、	山口県告示第三百四十二号	丁目八番中央 号	一の四 柳井市伊保庄	町四番一六号	一丁目一日南市岐山通	" "	// //	" "	" "	" "
所名 称定福祉用日		付を担当させる	3	ループホーム みの 木 グ	ムゆうわ苑 グルー プホー	ん所 2 名 家田間 の楽さ	ター サー ビスセン 部 老 人 デ イ レーシュ	アセンター らんぼ横山ケ さく でく	アらセデ セルジター ショー ケ アロさく アロンス	アらんだり せんじゅう とうしょう アクター さく かんしょく かんしょく かんしょく かんしょく かんしょく かんしょく かんしょく アイサー ビス	セんンイ ンぼタサ タ玖 —	アセンター らんぽ川下ケ マンター さく アイサー ビス
称 所 在 地松用具販売事業所	山口県知事)機関を次のとおっ) 第五十四条の		丁目八番一号	一の四 柳井市伊保庄	田九六六の一	号丁目 二番 三〇 三十二十二 三十二十二 二十二 二十二 二十二 二十二 二十二 二十二 二十二	〇丁 # 号一 二横 五一	一丁 # 号目 九平 番田 一六	一渋前 九七七の の手和町	〇五 " 四五の二 の二町町	号 丁 目 五 番 町 二 二
地	=	り指定-5		"	ſ	5共対認 7同応知 隻生型症	"	"	"	"	"	"
指定	井関	した。 規定		"	"	11	"	"	"	"	"	"
指定年月日	成	たにより		"	"	"	"	"	"	"	"	"
	<u> </u>			"	/ +/+		"		.1.	" 	# + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	. 24.14
ス 株 式 会 社 コ ム	福祉サービス	会 療法人和同	壮人	"	イ株式会社ニチ	称 氏名又は名 介 護 予 防	平成十八年	介護扶助のため生活保護法(山口県告示第	カルサー ビス有限会社メディ	大きなからない。大きなからないでは、大きなないです。 大きな 大学 イズ 会社 メディ	サントノミミトサントノミニティ
〇本東京 番木六丁港 号目一		三岐 " に 一 一 大字 西		" "	二区神田 丁目田 大河田 大河 一 二 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	のた住事 所る所 在事又は 地務は主	八年六月二十日	;ための介護予防を担当させる機関を次のとおり指定した。(法(昭和二十五年法律第百四十四号)第五十四条の二第一	亦第三百四十三号	の五 万本郷二四六〇 号 マ	满三丁目三番九号 丁目二番九号 工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工	
ケス アン山口 コンター アン山口宇部	福祉サー ビス	ション アース アース テール	テーション ヘルパー スアスワン山荘	波ンター 西岐アイリスケア	センター 厚南アイリスケア	名籍称防		当させる機関を運用の出口の			- - - - - - - - - - - - - -	
号丁 # 目 五 番 一 六 二	の岐ッツの 四四の一 大字西	波二八七の一 大字際	一田 " 四〇の二字木	の岐 " 一波一五四五 五四五	の崎宇 三開部 市大字 三妻	所事 在業 地	山口県知	次のとおり指				
"	//	"	"	"	介防介 護訪護 問予	種事 類業 の	事 二			の五 万本郷二四六〇 周南市大字須々	目一〇六の七 一〇六の七 一〇六の七 一〇六の七 一番九月 一番九月 二番 月 二番 月 一〇十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	開作ーー三の三字部市大字妻崎
"	"	"	"	"	平成	指空	井関	項の規定により、		"	<i>II I</i> .	_
"	"	"	"	"	位	指定年月日	成	たにより		<i>II</i>	" "	位
"	"	"	"	"	_	П		Ά		"	" "	

_	平成.	18年6	月20日	火曜日	L	4	П	県	;	報	(រី	E期)	第	1763	号
	スン 株式会社コム	市区師法人岩国	協部会議市福	「ケ限 ア会	むべの里 の里法人	組合健文会医療生活協同	扶老会 祉法人	ンドサービス 有限会社フレ	協 詩	上字部市社会福祉法人 福祉法人	博愛	業字 宇部市厚生事 中 生事	う・生 動法 人きょ 特定非営利活	"	神原苑社会福祉法人
(- -	○本京 本京都 一 号 日 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一町三 町三丁目 計 国市室 の木	〇二 " 号目 四番二 番二町	号丁 " 四四番二四二四三四三四三四三二四三三四三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三	一須恵 恵三二○の の東	三山 " 号町 一 六五 番十 二目	木八三三の三 大字船	宇部一九六四	Ę)二, 号 号 目 四 琴 芝 町 番 三 町	号丁" 目 四 番上 一一	五丁" 号 一 一 六野 番 一	〇号 二丁目二番一 二番台	" "	二号 号目 一番二 一番二 町
1	アン式) セ岩会 ク	z病ション 対 対 対 対 対 に に が に が に に が に に に に に に に	業き部 所へ社 ル協 パく	ター 部	部 セ 福 む ンター 上 宇	ばたき マーションは スルパース	ション パー ステー テー	ビスンドサー	所訪問問題	上宇社 注 協市社会 会社法会 宣福	ションパー ステーステール	ション パー ステー テール	共生センター	Іп.原 ∶	ンパー 水ー ホーム ホーム マーク ステーク ステーク アール マール コール コール コール コール コール コール コール コール コール コ
	番二号 町四丁目一六 麻里布	一町三 二 号 目 市 室 の 木	の子	号丁" 目四四 二四二二四三二四三二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二	目 七番七号 丁	一山 " 号町 四 番八 一	木八三三の三 大字船	宇部一九六四十六四	Ę)二 丁目四番二 四番三町	丁目一番三号二号二	五丁" 号目 一 六野 番一	号三 " (¹ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	二 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 四 一 一 四 一	五番四〇号 町
	"	"	"	"	"	"	"	"		"	"	"	"	"	"
	"	"	"	"	"	//	"	"		"	"	"	"	"	"
	"	四	五	"	"	"	"	"		"	"	"	"	"	"
_	"	"	"	"	"	11	"	"		"	"	"	"	"	"
	みな み 病 院	療 べ 法 の	福 健 祉 文	療 生 活 協	医療法人尊爱 旅游 法人尊受 福祉法人	愛花 世名 补 活	会 協芳: 虽 議町: 止 会社:	祉 法	ビス ディカルサー も 社 メ	会周社 南本福祉 北部福祉 祉人	ヶ会 浦福 整祖	協南会議市福民 会社社会	院局限 品会社 法	エ会 ム社	소会
	番二三号 七七	岩国市南岩国	"三号 号一 大字 東	# 号丁 目 五 番: 十 一: 目	" 号目 号目 四琴芝町 上 二丁三野	中写書が、	大字形式	美祢郡秋芳町	六 の 五 二 四	の一 マ万本郷二八 バラス	米七五二の四	三番市七号五	月 号四 " 居 日 三 田 三 香 二 田 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	番三丁目 一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	番七号 天满三丁目三 三
	くし ションつ	訪問看護ス ション モール	むべの里訪問	虹の訪問看護ステー	きるびあ 事業所問入浴 宇部社協くす	介護事業所	マ 祉務 協議 議会 福	社会福祉法人	ビス・訪問介 有限会社メ	護 事 業 所 門 介	ンター はぁと	が協議される	別 サー 英属 サー 英属 できません できません アイス かんしょう はんしょう はんしょく はんしん はんしょく はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんし	岩国間介護事業所はエスリーエス訪	店ディス岩国支株式会社メ
	番三九号 七八	岩国市南岩国	一号四番八一	目 一 五 番》	四四	中写一二六の写	学 一大 三字 形 三 秋 吉 五三	美祢郡秋芳町	六 " の エ 二 四	の一 々万本郷二八 水字須	米七五二の四	田三一市大学の二字	周 九町 #	番町 # 三丁 号目 一七国	七丁目 一〇六の の の
		"	"	" 看防? 護訪 問	介 "	護入防介 浴訪詞 介問予	美	"	"	"	"			"	"
Ξ		<i>"</i>	<i>"</i>		<i>"</i> ") I I J		"	"	"	"	"	, ,,	"	"
	"	"	"	四	五	//	"		"	"	"	"	"	"	"
	"	"	"	"	"	"	"		"	"	"	"	"	"	"

平成18年6月20	日 火曜日	Щ	П	県	報	(定	期)	第	1763 ÷	号	
むべ会福 を を を を る る る る る る る る る る る る る 、 、 、 、	むべの里 社会福祉法人 有限会社フレ	むべの里 出法人	栄会 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	愛世会を受ける	老会福祉法	むべの里 社会福祉法人	神原苑 祉法人	会 医療法人和同	アスワン山荘 い山荘 で	イ学館 松式会社ニチ	
一須宇 番村町四 三二 号 町四丁目 九 の の の	一須恵三二〇の 『 ままま 大字東 のののののののののののののののののののののののののののののである。	─須 恵三二 大字 の東	波 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	中 // 〇丁 // 一 号目 二大 〇東 一 六字 番町 一	. 三 計 三大	ー須恵三二〇の の 大字東	二二 " 号丁 目 一神 番原 二町	三岐ッ に 一 大字西	一田四〇の二二 の二二 十二二	二丁目九 区神田駿河台 東京都千代田	
- ビックリー ベンター ベンター マンター マンダー マング マック マッチ	ター サービスセン ドカ 玉 園 デ イ アレンドサー		セデの スシンター ファック マック マック マック マック マック マック マック マック・マック マック・マック マック・マック マック マック マック マック マック マック マック マック マック	2 セ ス アデュリー ス ディサービ エ サービ	張 スセンター 園デイサー	ビスセンター	ンター イサー ビスセー が原苑藤山デ	サービス ディ	セディサー ビス アスワン山荘	波 センター 西岐 アイリスケア	
一須 男二 男二 男二 男二 男二 大字 見四番 八の の 東	の 須恵 三四 五四 大字東 大字中	目"の の の 一 四 四 四 四 九 大 字 見 、 大 字 東	六波 : 〇大 : 一字 (中 // 三一 // 一 号丁 二 大 目 六字 番能 の一山	・ 木八三三の三 大字船	波六七二の三 大字際	号一丁目四番五 五百四番五	波二八七の一 大字際	一田四〇の二二 大字木	の 岐波 一五四五 四五 四五	
11 11	<i>II II</i>	11 11	"	11 11	"	"	"	"	"	介防介 護通護 所予	
11 11	11 11	,, ,,	"	<i>''</i>	' "	"	"	"	"	"	
11 11	11 11	<i>II II</i>	<i>II</i>	<i>"</i>	"	"	"	"	"	"	
11 11	<i>11</i>	" "	"	" "	"	"	"	"	"	"	
# 豊社会 徳会 会 祖 法 人	会周社 会图 新名	療 ヶ会 局 法 浦福 : 人 整祉 : 山 肢法 :	有 平成記念会 社渡辺	法	社協議会 注部市社会福祉法人 福祉法人	屋の保証を	"	"	"	"	
" " 七大美 三字祢 青郡 " 景秋 " 一芳 八町	の一方 本郷 三河内 二五六の 二五六の 7	七南 丁 五市 目: 大 二大 三: ア の字 番:	市 四市 今 六勝 津 占	五丁目一〇一のの	〇二 号 目 四 琴 三 町 野 三 町 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三	○一 号 目 七 番 一 番 一	" "	" "	" "	// //	
ビ秋 タサ青 スセデ セディ スデ ンイ スサー ター ンフィ	ター ゲー [注 ター ビスセン フセン	温 ビ浦 ビ在 見 スデ セデ ケデ	会 セデ 社 ンイ 渡 タサ	ンイクい タサリし ー ニい ビッケ スクア セデ・	ビのき おき デイサー サー	スセンター 屋所会社てご	ビス センター ンター	ター 藤山 むべの里デイ	ター はら むべの里デイ	ター はぎわら むべの里デイ	
二大 ** 七大美 一字 三 の秋 三 吉 ** 一景秋 三 八 三 八 一 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	の ヤック 一万本 大字 二 二 二 二 二 二 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	十南 号一	目 三 麻 一平 里 番田	五町岩 〇一丁目 号目市室 一番	一木四四二の一 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	○ 号 目 七 番 一 番 台	の字 # 三部 二大字 一大字上	八号目 一丁目五番二 工事藤曲	○ の 三 一 七 七 七 大字妻	岐波三六三八 火 大字西	
" "	" "	<i>'</i> 1 11	" "	"	"	"	"	"	"	"	
" "	11 1	'I II	<i>II II</i>	"	"	"	"	"	"	"	四
11 11	11 11	" "	"	四	五	"	"	"	"	"	
11 11	11 11	" "	"	"	"	"	"	"	"	"	

平成1	8年6月	月20日 火曜	日	Щ	П	県		報	(定期) 第	§ 1763	号
株式会社会社業	/ I な 「 スオ	, 学术	むべの里 の里法人	徳会 会福祉法人	南名 相 祖 祖 社 人	むべの里 出法人	愛世会 社会福祉法人	神原苑 並法人	アスワン山荘 社会福祉法人	療法人和同	組合健文会 医療生活協同	会療法人太白
号二 " 目 二 二 音 二 新 五 町 九 町	号丁音 目前 七南	も ツル	一須恵三二〇の の の の		八須	須恵三二〇の ア 大字東	中 " 二 六 の 一 上 大 字 山		一田四〇の二二 大字木	_	山 " 町 一 五 番十 二目	の 岐波四三二二 二二二 二二二 三二二二
わ り 宇 部 、 ま ま ま ま 業 業 業 業 業 業 業 業 業 業 業 業 業 、 ま ま 、 ま ま 、 ま 、	サンドン 最終 という ストラー ス株式会	, ンイ	おば苑 苑 スあ	ム養 青護 景人	图人		ホームセン特別養護老人		ン山荘 ホーム オーム ア スワ スワ	ト 字 部 西 ショ ー	宇部協立病院	病院 サイド サイド
号二"目本	号丁 号丁 目 18 七萬	作 可 一大 毛 一字	一須恵三二〇の の の の の	七三字青景一八	の一 々万本郷二八 周南市大字須	須恵三二〇の 大字東	中 / 二六の一 一二六の一	二二 " 号 目 一神 番 二 町	一田四〇の二二 大字木	八 七大 の字 一際	山 " 町 一 五五 番十 二目	の岐波四三二二 宇部市大字東
"	' 11	,与用防介 ; 具福護 〔 貸祉予 〕	舌居施防介 介者設特護 獲生入定予	"	"	"	"	11	" 注 が 言	5入防介 1所短護 隻生期予	" シ! コデ ン「	Jリ防介 -八通護 ビ所予
"	' '	, ,,	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
"	"	"	"	"	"	<i>"</i>	"	"	"	"	"	"
エス興産 一	むべの里 社会福祉法人	会 疾 療法人和同	II	11	II.		"	"	会療法人新生	愛社会福祉法人	だい	ディス 株式会社メ
の二六 地波四三二七 大字東	─須恵三二〇の ボ 大字東	三岐宇 波ニニ大 九の の西	" " "	" " "	'' ''	"	"	" "	五丁目一〇一の 一〇一の	中宇 一部 二六 の一山	ディスティス 六次万本郷二四 の本郷二四 三四 三四 三四 三四 三四 三四 三四 三四 三四 三	番七号 天阪市北区西 目三
ムサンきらら プループホー	ム際波 ブルー プホー	プ宇 ホーム ルー	アセンター らんぼ横山ケ センター さく デイサービス	アセンター らいぼ平田ケ マーさく	アセンター ヒンター さく デイサービス	アセンターという	デイサービス	アらんだい せいかい せいかい はい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいが	ンイケー イサーニックー ビスケデ セフデ・	ビ 2 ゼ ス エデチュ ン ター	ビス ビス ビス ボール サール サール サール サール サール サール サール サール サール サ	店ディス岩国支株式会社メ
の二六 (世) (大字東	波六七二の三 ・ 大字際	波二八七の一	〇号 一二番 五 五 二 五 五	一丁 " 号目 九平 番田 一六	一 渋前 九七七の の 町	σ) 〕 〕 〕 〕 〕 可	号丁 " 目 五 番車 二 二	五〇号 町一丁目一番 番	中宇 一部 二市 六次 の山	ディスティス (大)	七 丁目一〇六の 岩国市御庄四
"	"	雙生型症防介 活共対認護 介同応知予	"	"	"		"	"	"	介型症防介 護通対認護 所応知予		"
"	"	"	"	"	"		"	"	"	"	"	"
"	"	"	"	"	"	"		"	"	"	"	"
"	"	11	"	"	"	"		"	"	"	"	"

ストラインラン									平成16
末 式会社 ボ会社 ボディ	"	"	"	"	丁目八番一号	ループホーム クホームク	丁目八番一号	大平有阳会社	8年 6 月
サンケン実業株・	"	"	11	"	ー " の四 は りほ	ゆうわが	σ	恒和会福祉	∃ 20 [
学館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	"	"	"	"	二并三市	ν あそかれ のそかれ かっぱんかれ	一并 三市	L 社 法 法	1 火
名 称 特定介護予防福祉	"	"	"	"	一 " 三四 ○ 取 町	ホーム イベいせい いせい	一 三四 ○ 取 町 町	平成会 工成会 人山口	翟日
平成十八年六	"	"	"	"	二 " の 下 三 四	ラッチェリー ブ サムー ブホー	五丁 " 目 一 〇 多 一 の三	会療法人新生	山
介護扶助のための生活保護法(昭	"	"	"	"	九一" 号目一 目一〇津町	ムあかしあ グルー プホー	九一" 号目 一丁目一〇津町	メディ カル カル	_
山口県告示第三	"	"	"	"	号丁岩 目目市 番町 二	ムひまわり う会まハホー と療法人ある	三号 一丁目二四 四二四 四二二四 二四二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二	医療法人あろ	1
原東町	"	"	"	"	田九六六の一 防府市大字新	ん 新 4 明 間 宅 老	町四番 一六号	有限会社楽さ	県
祖会福祉法人豊 :	"	"	"	"	の字 # 三部 二大 〇一上	ムグルー 門 プホー	- " = " O	むべの里 る福祉法人	報
岩国市	"	"	"	"	五 " 三 " 〇 の	ムむべ マ ループホー	五 " 三 " 〇 の	宇ル 動特定 センター ターイル かんしょう かんしょく かんしゃ しんしゃ しんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ	(定
称	"	"	"	"	の二 須恵三四五四 五四 東東	ム芳玉園 玉園 ホー	" "	"	期)
地域包括支援	"	"	"	"	八号目 一丁目五番二	ム藤山 ボープホー	" "	"	第
平成十八年六一の護扶助のための	"	"	"	"	目 " 番二一 号丁	ムひらき オープホー	一須恵三二〇の の の	むべの里 社会福祉法人	1763 =
生活保護法 (昭)	"	"	"	"	中 " 二 六 の 山	リー21 ムセンチュープホー	中 " 二 六 の 山	型世会 世会福祉法人	클

口県告示第三百四十四号

護扶助のための介護予防支援計画の作成を担当させる機関を次のとおり指定した。 生活保護法 (昭和二十五年法律第百四十四号) 第五十四条の二第一項の規定により、

平成十八年六月二十日

府市 域 包 称括 支 援 の所在地を上たる事務所をセンター 名介 護 予 称防 支 山口県知事 一号 市寿町七番 所援 事 在業 地所 平 成 井 指定年月日 関 四八 成

一号的府市寿町七番

丁目一四番五一岩国市今津町一 支援センター防府市地域包括

支援センター岩国市地域包括

11

11

"

三丁目一番一一岩国市室の木町

字青景一八七三美祢郡秋芳町大

支援センター秋芳町地域包括 字青景一八七三美祢郡秋芳町大

七の二 字徳佐中三四一 阿武郡阿東町大 支援センター阿東町地域包括 字徳佐中三三八阿武郡阿東町大

口県告示第三百四十五号

護扶助のための介護予防福祉用具の給付を担当させる機関を次のとおり指定した。 生活保護法 (昭和二十五年法律第百四十四号) 第五十四条の二第一項の規定により、

平成十八年六月二十日

山口県知事

井

関

成

指定年月日

1 称 主たる事務所に介護予防福祉用具販売事業者 名 称 所 在 地特定介護予防福祉用具販売事業所

館会社ニチイ

目九 東京都 村田駿河台二丁 東京都千代田区

平 成

四八

ンター 厚南アイリスケアセ

丁目二番九号二部市神原町二 開作一一三の三字部市大字妻崎

宇部 式会社ひまわり サンケン実業株

丁目二番九号"

"

号 満三丁目三番七 大阪市北区西天

ス岩国支店 株式会社メディ

カルサー ビス の五 万本郷二四六〇 川南市大字須々 カルサービス 有限会社メディ の五 万本郷二四六〇 周南市大字須々

山口県告示第三百四十六号

改良区の定款の変更を次のとおり認可した。 土地改良法(昭和二十四年法律第百九十五号)第三十条第二項の規定に基づき、 土地

平成十八年六月二十日

土地改良区の名称

下関市豊田町土地改良区

可 年 月 日

山口県知事

=

井

関

成

平成一八、 認 六 Ξ

山口県告示第三百四十七号

市町が行う土地改良事業の施行について次のとおり同意した。 土地改良法 (昭和二十四年法律第百九十五号) 第九十六条の一 |第一項の規定により、

平成十八年六月二十日

山口県知事 _ 井

同 意 年 関 月 成

ほ場の整備 事業の種類

山口市

沖の原地区 施行地区

市町名

平 成 八 六 日

九

山口県告示第三百四十八号

安林を次のように指定する予定である。 森林法(昭和二十六年法律第二百四十九号)第二十五条の二第一項の規定により、

保

平成十八年六月二十日

山口県知事 = 井 関

成

保安林予定森林の所在場所

下関市大字井田字上の山二〇一から二〇三まで、二〇四の一、二〇四の二、二〇五

から二〇七まで、二〇九、二一〇

美祢市伊佐町伊佐字一ノ森下七五から七七まで、七八の一、七九、八〇、八二、

三四の四一から一三四の五〇まで 森下八〇の一から八〇の五まで、一五三、二三六七の一、二三六七の二、字河内神一

指定の目的

"

土砂の流出の防備

Ξ 指定施業要件

立木の伐採の方法

次の森林については、 主伐は、 択伐による。

に限る。) 下関市大字井田字上の山二〇一・二〇二 (以上二筆について次の図に示す部分

部分に限る。) 七の一・二三六七の二・字河内神一三四の四四 (以上七筆について次の図に示す 美祢市伊佐町伊佐字一ノ森下七九・八〇・字森下八〇の一・八〇の五・二三六

その他の森林については、主伐に係る伐採種を定めない

2

3 町村森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。 主伐として伐採をすることができる立木は、当該立木の所在する市町に係る市

間伐に係る森林は、次のとおりとする。

次のとおりとする 立木の伐採の限度並びに植栽の方法、期間及び樹種

産部森林整備課及び関係市役所に備え置いて縦覧に供する。 (「次の図」及び「次のとおり」は、 省略し、その図面及び関係書類を山口県農林水

山口県告示第三百四十九号

模等入札参加資格」という。) 及び当該経営規模等入札参加資格の審査の申請の時期、 般競争入札に参加する者に必要な経営の規模及び状況を要件とする資格(以下「経営規 り、維新百年記念公園陸上競技場 (補助競技場)整備工事 (第一工区)の契約に係る一 方法等について次のとおり定めた。 地方自治法施行令 (昭和二十二年政令第十六号)第百六十七条の五第一項の規定によ

平成十八年六月二十日

山口県知事 井 関 成

- 維新百年記念公園陸上競技場 (補助競技場)整備工事 (第一工区)
- 工事場所 山口市吉敷地内
- 工事の概要

字

全	
天	エ
候	
型	
舗	
装	
エ	
	1=
	種
_	
_	
	面
四四	面
_	面
_	面
_	面積
四二〇平方メートル	

| 経営規模等入札参加資格

構成するものに限る。) とする。 入札に参加できる者は、次に掲げる要件のいずれにも該当する共同企業体 (二者で)

- 1140。 | 共同企業体の構成員のいずれもが次に掲げる要件のいずれにも該当する者である

3 出資比率が三十パーセント以上であること。 定する特定建設業の許可(ほ装工事業に係るものに限る。)を受けていること。2 建設業法(昭和二十四年法律第百号。以下「法」という。)第三条第六項に規

(以下「総合評定値」という。)のほ装工事の数値が九百以上であること。事が通知した法第二十七条の二十九第一項に規定する総合評定値のうち直近のもの① 共同企業体の代表者の平成十八年六月十九日までに国土交通大臣又は都道府県知

ること。 共同企業体の代表者以外の者の総合評定値のほ装工事の数値が八百五十以上であ

三 経営規模等入札参加資格の審査

共同企業体競争入札参加資格審査申請書等

う。)を提出しなければならない。同企業体競争入札参加資格審査申請書及び次に掲げる書類(以下「申請書等」とい経営規模等入札参加資格の審査を受けようとする者は、告示四の⑴に規定する共

共同企業体協定書の写し

総合評定値通知書の写し

特定建設業の許可通知書の写し

4 委任状

申請書等の提出方法

よるものは、受け付けない。 申請書等は、共同企業体の代表者が持参して提出するものとし、郵便又は電信に

申請書等の提出場所

 (Ξ)

山口土木建築事務所 山口市神田町六番一〇号

四 申請書等の提出期間及び時間

平成十八年六月二十日から同月二十七日までの午前九時から午後四時三十分まで

平成十八年七月七日までに発送する。経営規模等入札参加資格適合通知書又は経営規模等入札参加資格適合通知書又は経営規模等入札参加資格の審査結果の通知方法

四その他

〇)にすること。

山口県告示第三百五十号

条第一項の規定により、急傾斜地崩壊危険区域として次の区域を指定する。 急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律 (昭和四十四年法律第五十七号) 第三

平成十八年六月二十日

-

山口県知事 二 井 関

成

区域の名称

一 区域の範囲 山根(1)の(1)地区

号と二十号を結んだ線に囲まれた区域次に掲げる地番の土地に存する標柱一号から二十号までを順次結んだ線及び標柱

"	"	"	"	"	"	"	"	岩	市
								国	
								市	名
"	"	"	"	"	"	"	"	由	大
								宇	字
								町	名
"	"	"	"	"	堂	"	"	明	字
								観	
					合			寺	名
三八二	三五八	三五八	三三五八地先	四九一六の一		三八	四六六六の一	四六六四地先	地
									番
九 号	八号	七号	六号	五号	四号	三号	_ 号	— 号	標
									柱
									番
									号

大

日 比

二七四 二一七六の二

七号

六号

八号

一四五六

- 00八の -0 - 00八の |

四号

三号 _号

一四五七の七

五号

畑 //

一四八六の 一四八七の

十号

Щ

툱

門

市

仙

崎

二四七七の一

迫 畑 報

区域の名称 大日比(4)地区

区域の範囲 次に掲げる地番の土地に存する標柱一号から十号までを順次結んだ線及び標柱一号

市	と <u>+</u> .)
名	号を	1
大	に	
字	線に	1
名	囲	
字	十号を結んだ線に囲まれた区域	1
名	域	1
地		1
		ンーオー・ナ 電く ニナーイー・オオー・ラファー・ラミー ネルン糸 ノフ糸ブでオオー・ラ
		7
番		7
標		
柱		1
番		7.7
号		1
	<u> </u>	5

1	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
湊原 四九四四 四九八八四の四地先 四八八八四の四地先 四八八八四の四地先 中の九〇二の一 四八八八四の四地先 中の九〇二の一 四八十二の一地先 中の九〇二の一 四八十二の一地先 中の九〇二の一 四八十二の一地先 中の十二の一 四八十二の一 中の十二の一 四八十二の一 中の十二の一 四八十二の一 中の十二の一 日本の上 中の十二の 日本の上 中の十二の 日本の上 中の十二の 日本の上 中の十二の 日本の 中の十二の 日本の 中の十二の 日本の 中の上 <	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
	"	"	"	"	湊		"	"	"	湊	"
二 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十	四八七七の一	四八八一の二地先	四八八八地先	四八八四の四地先		四九一六の一	四九〇二の一	四九〇四地先	四九四一の三		三三八七
	二十号	十九号	十八号	十七号	十六号	十五号	十四号	十三号	十二号	十一号	十号

山口県告示第三百五十一号

の位置を次のとおり指定した。 建築基準法 (昭和二十五年法律第二百一号)第四十二条第一項第五号に規定する道路

その関係図面は、宇部土木建築事務所に備え付けて縦覧に供する。

平成十八年六月二十日

山口県知事

= 井

関

成

一山及陽び小	地
一及び七七七の六山陽小野田市大字点	名
の大	及
I川字大緑	び
緑七	番
七七七の	地
	幅
六。	(メートル)
	延
六	<u>ک</u> ک
六六三	(メートル)
四 —	(平方メートル) る土地の面積 道路の敷地とな
t=	- トル) (地とな

(三二九) 平成十八年度毒物劇物取扱者試験の実施

取扱者試験を次のとおり実施します。 毒物及び劇物取締法 (昭和二十五年法律第三百三号) 第八条第一項第三号の毒物劇物

平成十八年六月二十日

山口県知事

井

関

成

平成十八年十一月十八日 (土曜日) 午前十時から正午まで 試験の日時

山口市秋穂二島一〇六二番地

試験の場所

受験願書の受付期間 山口県セミナーパーク

Ξ

九月二十九日までの消印のあるものは、有効とする。) 平成十八年九月一日 (金曜日)から同月二十九日 (金曜日)まで (郵送の場合は、

兀 受験願書等の提出先

福祉部薬務課に提出すること。 最寄りの保健所又は山口市滝町一番一号 (郵便番号七五三-八五〇一) 山口県健康

なお、郵送する場合は、封筒の表に「毒物劇物取扱者試験願書在中」と朱書するこ

Ŧ

受験願書

提出書類

村長の証明書 二十七年法律第百二十五号)の規定による外国人登録原票の記載事項に関する市町 戸籍の謄本又は抄本(日本の国籍を有しない者にあっては、 外国人登録法 (昭和

た無帽、正面向き及び上半身像のもの 写真(縦四センチメートル、 横三センチメートルとし、 出願前六月以内に撮影し

柳井市

農道の整備 新庄浜地区

受験手数料

証紙には、消印をしないこと。 一万五百円に相当する山口県収入証紙を受験願書の所定の欄にはること。この収入

合格者の発表等

七

口県庁インフォメーションプラザ内の掲示板に掲示する。 合格者の発表は、平成十八年十二月四日 (月曜日) とし、 合格者の受験番号を山

開示を受けようとする受験者は、合格者の発表日以後、受験票を提示してその旨を 知事に申し出ること。 試験の得点の開示は、山口県健康福祉部薬務課において行うので、試験の得点の

八 その他

П

山

- メートル以上、横二十四センチメートル以上のもの)を同封すること。 部薬務課にすること。郵便で請求する場合は、封筒の表に「毒物劇物取扱者試験」 と朱書し、百四十円分の切手をはったあて先明記の返信用封筒 (縦三十三センチ 受験願書等の請求は、最寄りの保健所又は山口市滝町一番一号 山口県健康福祉
- 話〇八三-九三三-三〇一八) にすること。 この試験についての問合せは、最寄りの保健所又は山口県健康福祉部薬務課 (電

(三三〇) 土地改良事業の工事の完了の届出

次のとおり土地改良事業の工事の完了の届出がありました。 土地改良法(昭和二十四年法律第百九十五号)第百十三条の一 一第一項の規定により、

平成十八年六月二十日

事業の名称

た者の名称又は氏名土地改良事業を行っ

工事着手時期

山口県知事

=

井 関 成

工事完了時期

柳井市土地改良区 整備 老朽ため池の 余田富農勢地 平成一二、一一、一五

岩国市

かんがい排水由西地区

平成一三、

_

八

平 成

八

"

 $\overline{\circ}$

ほ場の 整備 処地区 平成一六、

九

11

兀

平成二二、 Ó \equiv 平 成 t ₹

(||||||) 国営農地再編整備事業 (豊北地区寺川換地区) の換地処分

国営農地再編整備事業の施行に係る豊北地区寺川換地区の換地処分を次のとおり行いま 土地改良法(昭和二十四年法律第百九十五号)第八十九条の二第九項の規定により、

平成十八年六月二十日

した。

山口県知事

井 関

成

平成十八年六月五日 換地処分の年月日

換地処分の内容

とおり 国営農地再編整備事業(豊北地区寺川換地区)換地計画書に記載された換地計画の



山口県選挙管理委員会告示第四十六号

数) は、 る数に六分の一を乗じて得た数と四十万に三分の一を乗じて得た数とを合算して得た 有する者の総数の三分の一の数 (その総数が四十万を超える場合にあっては、その超え 運営に関する法律 (昭和三十一年法律第百六十二号) 第八条第一項に規定する選挙権を 八十条第一項、第八十一条第一項及び第八十六条第一項並びに地方教育行政の組織及び に規定する選挙権を有する者の総数の五十分の一の数並びに同法第七十六条第一項、 地方自治法 (昭和二十二年法律第六十七号)第七十四条第一項及び第七十五条第一 次の表のとおりである。 第

平成一三、

二、二八

Щ

П

県

山口県選挙管理委員会委員長 褔 田 隆 司

								_
員の解職の請求	職の請求を買会の委員の解し、監査委員会の委員のの要がでいる。	知事の解職の請求	の県 請求 の議員 の解 職	県議会の解散の請求	する監査の請求県の事務の執行に関	廃の請求県条例の制定又は改	直接請求の種類	
律第八条第一項 及び運営に関する法 の組織	地方自治法第八十六 条第一項	条第一項 地方自治法第八十一	第一項 河 河 治法第八十条	条第一項地方自治法第七十六	条第一項地方自治法第七十五	条第一項 地方自治法第七十四	根拠規定	
			新美柳長光小岩下防徳萩山宇下阿大豊厚吉熊玖大南祢井門市野国松府山市口部関武津浦狭敷毛珂島陽市市市選田市市市市選市市市郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡				必要な有権者	
	11711, 0110			11411, 0110	_ _ _ _ _ _ _		の 数	
			_			お	Щ	_



3口県日本海海区漁業調整委員会告示第一号

3り指示する。 漁業法 (昭和二十四年法律第二百六十七号) 第六十七条第一項の規定により、次のと

平成十八年六月二十日

山口県日本海海区漁業調整委員会

清

水 栄太郎

まきえづり等」という。)は、禁止する。 目的として行うまきえづり及び当該まきえづりに係る遊漁案内行為(以下「まぐろ 錨等で船舶の位置を固定し、あみ等をまきえとして使用し、かつ、まぐろの採捕を 次のA、B、C、D及びAの点を順次結んだ線によって囲まれた海域において、

置にあっては、北緯三五度〇三分〇〇秒東経一三一度一四分〇〇秒の点) 北緯三五度○三分一一秒東経一三一度一三分五一秒の点 (日本測地系による位

B 北緯三五度〇三分一一秒東経一三一度〇〇分五一秒の点 (日本測地系による位 置にあっては、北緯三五度〇三分〇〇秒東経一三一度〇一分〇〇秒の点)

置にあっては、北緯三四度五四分〇〇秒東経一三一度〇一分〇〇秒の点) 北緯三四度五四分一一秒東経一三一度一三分五一秒の点 (日本測地系による位 北緯三四度五四分──秒東経一三一度○○分五一秒の点 (日本測地系による位

を使用して行う場合に限り、これを行うことができる。 会 (以下「委員会」という。)の承認を受けた船舶 (以下「承認船舶」という。) げる期間内に行うまぐろまきえづり等については、山口県日本海海区漁業調整委員 ()にかかわらず、次の表の上欄に掲げる海域において、それぞれ同表の下欄に掲 置にあっては、北緯三四度五四分〇〇秒東経一三一度一四分〇〇秒の点)

b 北緯三五度○○分四一秒東経一三一度○九分四一秒の点(日本測地分○○秒の点) 系による位置にあっては、北緯三五度○二分○○秒東経一三一度○八	a 北緯三五度〇二分一一秒東経一三一度〇七分五一秒の点 (日本測地次のa、b、c、d及びaの点を順次結んだ線によって囲まれた海域	海域
		期
		間

d

分五〇秒の点) 系による位置にあっては、北緯三五度〇〇分三〇秒東経一三一度〇九 北緯三四度五九分ⅠⅠ秒東経Ⅰ三Ⅰ度○七分五Ⅰ秒の点 (日本測地

系による位置にあっては、北緯三四度五九分〇〇秒東経一三一度〇八

分一〇秒の点) 系による位置にあっては、 北緯三五度○○分四一秒東経一三一度○六分○一秒の点 (日本測地 北緯三五度○○分三○秒東経一三一度○六

次のe、f、g、h及びeの点を順次結んだ線によって囲まれた海域

分〇〇秒の点) 系による位置にあっては、北緯三四度五九分五〇秒東経一三一度〇七 北緯三五度○○分○一秒東経一三一度○六分五一秒の点 (日本測地

系による位置にあっては、北緯三四度五八分二〇秒東経一三一度〇八 北緯三四度五八分三一秒東経一三一度〇八分四一秒の点 (日本測地 月十六日から 平成十八年九 平成十九年一

分〇〇秒の点) 系による位置にあっては、北緯三四度五六分五〇秒東経一三一度〇七 北緯三四度五七分○一秒東経一三一度○六分五一秒の点 (日本測地 で 月三十一日ま

h 系による位置にあっては、北緯三四度五八分二〇秒東経一三一度〇五、北緯三四度五八分三一秒東経一三一度〇五分〇一秒の点 (日本測地 分一〇秒の点)

年九月十五日 平成十八年七 月一日から同

(五)

証を承認船舶に備え付けるとともに、委員会の交付する標旗を当該承認船舶の船橋

委員会承認を受けた者は、まぐろまきえづり等を行う間、

て、それぞれ同表の下欄に掲げる期間内に行うまぐろまきえづり等に関し、 の見やすいところに掲げなければならない。 委員会承認を受けた者は、承認船舶を使用して二の表の上欄に掲げる海域におい

指示の有効期間 業調整委員会告示第一号) による指示に違反したときは、委員会承認を取り消すこ とができる

第六十七条第一項の規定による指示に関する告示 (平成十八年山口県日本海海区漁

委員会が漁業調整上必要があると認めるとき又は委員会承認を受けた者が漁業法

が漁業調整上必要と認めて指摘した事項を遵守しなければならない。

委員会

平成十八年七月一日から平成十九年六月三十日まで

- ばならない。 ①の承認 (以下「委員会承認」という。)の申請は、 次に掲げる者が行わなけれ
- 「使用船舶」という。)を所有し、又は使用する漁業者 漁業のために行う場合にあっては、まぐろまきえづり等に使用する船舶 (以下
- 2 遊漁船業者 遊漁案内行為のために行う場合にあっては、使用船舶を所有し、 又は使用する

(四) 第四十九号) 第二十四条第一項に規定する漁場利用協定 (以下「漁場利用協定」と 期間内に行うまぐろまきえづり等に関し、沿岸漁場整備開発法 (昭和四十九年法律 3 者に地元関係漁業協同組合が含まれているものでなければならない。 所長及び山口県海面利用協議会長の立会いの下に締結され、かつ、協定締結の当事 でなければならない。この場合において、 まぐろまきえづり等の規制を遵守する旨を委員会に対し誓約した者の使用する船舶 いう。)を締結した団体の構成員が使用する船舶又は漁場利用協定と同等の内容の 使用船舶は、 遊漁のために行う場合にあっては、使用船舶を所有し、又は使用する遊漁者 ○の表の上欄に掲げる海域において、それぞれ同表の下欄に掲げる 当該漁場利用協定は、 山口県萩水産事務

平成十八年六月二十日発行平成十八年六月二十日印刷

発発

行行 人所

山山 $\Box_{\,\Box}$ 県 知県

事庁

定価一箇月

委員会の交付する承認